

市町村名 中城村

平成28年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑥	観光振興地基盤強化整備事業	平成28~30年度	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
				観光客の受入体制の整備	
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容 世界文化遺産「中城城跡」や吉の浦公園で行うイベント等で来村する観光客の利便性の確保を図るため駐車場を整備する。

効果発現年度 当年度 後年度(31年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		28年度	28年度(繰越)	29年度	30年度	31年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	4,000	-		
		(b) 予算現額	266,174	-		
		(c) 増減額(b-a)	262,174	-		
		(d) 繰越額	-	263,110		
		A. 計(b+d)	266,174	263,110		
	B. 執行済額		3,064	261,346		
	うち交付金充当額		2,450	209,078		
	次年度繰越額		263,110	0		
	執行率(%) (B/A)		1.2%	99.3%		
	予算の状況の説明		当初予算と最終予算との差額については、基本計画の策定完了後、用地購入及び実施設計も実施することとなり、262,174千円を増額した。また、地権者の同意を得ることに不測の時間を要したため不動産鑑定にかかる役務費581千円、測量・実施設計に係る委託費14,148千円及び用地購入にかかる公有財産購入費246,617千円を29年度に繰越した。			

活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況			
		28年度	29年度	30年度	31年度
基本計画の策定 実施設計の実施 建設地購入の実施	目標	(基本計画の策定 実施設計の実施 建設地購入の実施)	()	()	()
	実績	(基本計画の策定 実施設計の実施 建設地購入の実施)			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	平成28年度に基本計画を策定した。実施設計、用地購入は繰越となったが、平成29年度に実施できた。				

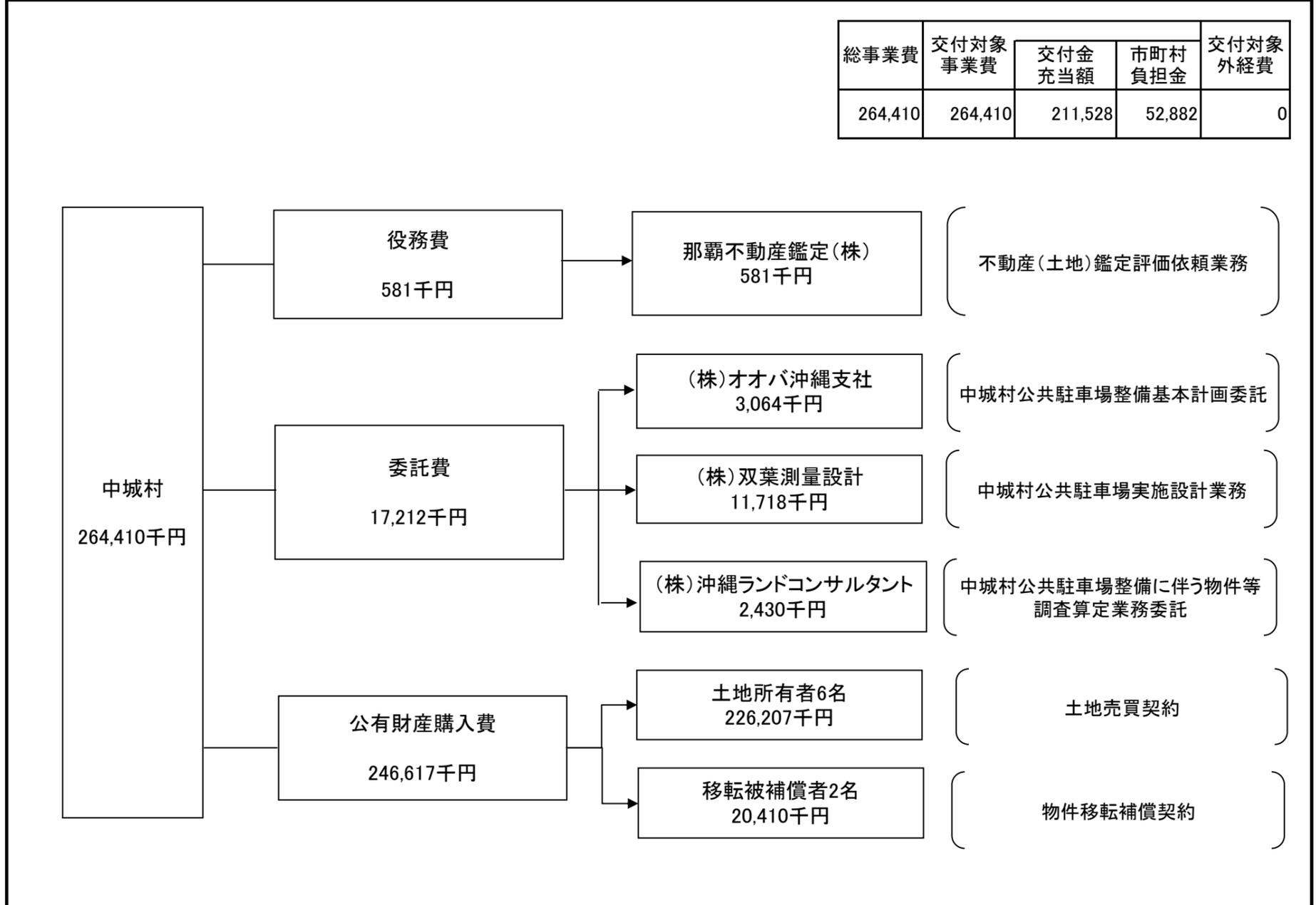
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(31年度)
			基本計画の完成 実施設計の完成 建設地購入の完了	目標	()	(基本計画の完成 実施設計の完成 建設地購入の完了)	()
		実績		(基本計画の完成 実施設計の完成 建設地購入の完了)			
	【H31成果目標】 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該駐車場のあり方について観光客や村民等へのアンケートで検証する。	目標	()	()	()	()	80%以上

進捗状況説明 平成28年度に基本計画が完成した。実施設計、用地購入は繰越となったが、平成29年度に完了した。

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(基本計画の完成、実施設計の完成、建設地購入の完了) ・平成28年度に、公共駐車場基本計画の作成が完了した。なお、地権者の同意を得ることに不測の時間を要したため、実施設計及び用地取得を繰越すこととなったが、平成29年度に実施設計、用地取得ともに完了し、平成30年度は工事を実施できる。	(基本計画の完成、実施設計の完成、建設地購入の完了) ・駐車場不足を解消し、円滑にイベントを開催するため、平成30年度は工事を適切に管理・実施する必要がある。

今後の取り組み方針
(基本計画の完成、実施設計の完成、建設地購入の完了) ・H30年度は実施設計を基に工事を実施し、公共駐車場の完成を目指す。また、供用開始後、公共駐車場をイベント等で適切に活用できるように、あらかじめ管理規程を制定する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託費は指名競争入札により選定しており、役員費は地方自治法施行令第167条の2の規定に則り随意契約より実施しているため、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は1,763千円で予算比で0.6%となっており、適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	